

うとん行長しゃんの拠点となる「家」が完成し、自作したテーブルや椅子を前に笑顔の子どもたちと崇城大生ら＝宇土市



行長しゃんの家完成だん

宇土シティモール内小学生ら手作り

宇土市のPRキャラクター「うとん行長しゃん」の活動拠点の一つとなる、子どもたち手づくりの「家」が、大型商業施設「宇土シティモール」内に完成し、1日、お披露目会があった。

市がまちづくりで連携する崇城大工学部建築学科（熊本市）の学生4人が、同モール内にある市のPRブースの活用策として提案。「行長しゃんを通して、子どもたちに宇土への愛着を深めてほしい」と、8月初旬から市内外の小学生16人とアイデアを出し合い、行長しゃん専用の椅子やテーブルなど家具11点を手作りした。

お披露目会では、完成を祝して子どもたちと学生が乾杯。腹部がフィットするようになりぬかれた特製テーブルに収まった行長しゃんも「みんなが一生懸命作ってくれてうれしいのだ」とこ満悦の様子だった。

小1の妹ゆまさんと参加した網津小6年の山下真南斗君は「椅子にペンキを塗るのが大変だったが、行長しゃんが喜んでくれてうれしい」と笑顔だった。

（西國祥太）